

弊社が専門誌に掲載されました。



機械工具・部品商社の京二は新たな分野へのロボット導入を推進している。一般的にロボットの導入が進んでいない食品製造の現場などにロボットとは何か、というロボットの役割を伝えながら導入を提案する。

京 二



はなまるに導入した、うどんをヒッキングし店頭配用に箱詰めするロボット

食品製造現場にロボット活用提案

市場の拡大に伴いシス 握し、最善のシステムとテムインテグレーション ロボットを顧客に提案する(Sler) は人手不足、顧客満足はもたらさず、商社である京二は Sler の営業人員不足 Sler 各社の特徴を把握を助ける。

以前より産業用ロボットを自動車や建機メーカーに提供していたが、2016年にロボット事業をさらに強化し、専門部署であるロボット推進室を設置した。井口宗久社長は「機械システムの組み合わせや、ロボット以外の提案を含めた顧客の問題解決を図れる」といっている。

食糧製造では製造後の選別や梱包が自動化されていないことが多い。同社は19年「うどんチエー」はなまる(東京都中

【企業概要】

- ▽所在地 | 東京都千代田区九段北4-3-24
- 3・3264・5151
- ▽資本金 | 2,000万円
- ▽売上高 | 56億円(19年9月期) 従業員 | 50人
- ▽設立 | 18年(昭23)

(水曜日に掲載)

日刊工業新聞2020年8月5日掲載記事

ナチロボット会 優良賞受賞のご報告

当社のロボット販売活動について主要仕入先の株式会社不二越様から優良賞の表彰をいただきました。この1年間における様々な業界へのロボット販売をご評価いただいたの受賞になりますが、ご導入いただいたお客様、ご協力いただいた不二越様とエンジニアリング会社様に厚く御礼申し上げます。より良い自動化提案ができるよう今後も尽力をさせていただきます。



～あとがき～

最後までお読み頂きありがとうございます。2020年は新型コロナウイルスに翻弄された年となりましたが、本号の記事にはこの状況を前向きにとらえようとする内容も多く心強く感じております。

社内を振り返ると、国内が少子化のなか弊社はベビーブームの年となり全社で5人の赤ちゃんが出生となりました。大変嬉しい出来事で健やかな成長を願っております。

最後になりましたが、2021年が皆様にとって良い年であるよう心からお祈り申し上げます。